

2022年度 第1学期

島根学習センター開設 **面接授業**

担当講師紹介

学ぶ教養 活かす教養

全国の学習センターがみなさんのキャンパスです。



2022年度第1学期 面接授業 島根学習センター開設科目一覧

科目区分		レベル	科目名	担当講師名	授業実施日	頁
基盤科目	—	110 (初級)	新・初歩からのパソコン	佐 竹 易 子 (島根大学教育学部・特任講師)	5月28日(土) 5月29日(日)	1
	外国語	120 (中級)	K-POPから学ぶ韓国語	林 河 運 (島根大学外国語教育センター・特任講師)	5月21日(土) 5月22日(日)	2
コース科目	生活と福祉	専門	320 (中級)	着ごちの科学 (島根大学人間科学部・教授)	4月30日(土) 5月 1日(日)	3
			320 (中級)	福祉経済論 (島根大学法文学部・教授)	6月11日(土) 6月12日(日)	4
	心理と教育	専門	320 (中級)	変わりゆく学校の音楽教育 (放送大学島根学習センター・客員教授/島根大学教育学部・教授)	6月 4日(土) 6月 5日(日)	5
			320 (中級)	心理学実験2 ※ 認定心理士資格取得対応科目 (京都ノートルダム女子大学現代人間学部・准教授)	7月 2日(土) 7月 3日(日)	6
	社会と産業	専門	320 (中級)	現代につながるたたら製鉄 (島根大学次世代たたら協創センター・特任教授)	5月 7日(土) 5月 8日(日)	7
			320 (中級)	会社法の基礎理論 (島根大学法文学部・准教授)	6月25日(土) 6月26日(日)	8
	人間と文化	専門	320 (中級)	松江城の歴史と特徴 (広島工業大学工学部・准教授)	4月23日(土) 4月24日(日)	9
			320 (中級)	日本語の性格 (放送大学人間と文化コース・教授)	5月14日(土) 5月15日(日)	10
	情報	専門	320 (中級)	ヒューマンインタフェースと社会 (島根大学総合理工学部・教授)	5月14日(土) 5月15日(日)	11
	自然と環境	専門	320 (中級)	原核細胞と真核細胞 (島根大学生物資源科学部・准教授)	7月 9日(土) 7月10日(日)	12

	担 当 講 師	さ た け や す こ 佐竹 易子
	所 属 (職)	島根大学教育学部 (特任講師)
	学 位 ・ 資 格 等	修士 (人間科学)
	専 門 分 野	情報教育
	研 究 テ ー マ	情報モラル教育
	所属する学会	日本教育大学協会
教育・研究内容	現役大学生にもパソコンの扱いに苦手意識を持つ人が多くいます。またスマートフォンなど通信機器の普及により、よくわからないうちにインターネットの世界へ飛び込んでいるのが現状です。それがゆえ、知らず知らずにたくさんの危険に晒されている人も少なくありません。大学では個人情報やセキュリティの管理を認識し、「人間に知覚されることにより、そこに意味や価値が与えられる」という考え方の関係性も考慮した情報概念を紐付けて講義しています。またインターネットに限らず、様々なメディア等から流れる情報を取捨選択し、世の中の幅広い情報を専門科目にも生かし、学習者が興味をもちやすく理解しやすい授業が行える教員養成を研究しています。	
自己紹介	近年 AI が進み、アレクサが住んでいるお家も多くなりました。私の最近のブームは家事をする際にイヤフォンをして、スマホから音楽やYouTubeを流してラジオ代わりにすることです。面倒な作業時もやる気が出ますし、着信の際は音楽が止まりマイク付きなのでそのまま会話ができます。この時、家族の声や外の音、危険も察知できるように片耳だけの利用は安心です。足元で動き回る掃除機に後ろから追いかけれながらも、自分の生活に応じた便利なものをこれからも取り入れていきたいです。	
授業の特色	パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。放送大学 Web ページ、学生用電子メール、受講科目の登録や成績確認ができるシステム WAKABA の利用など、今後の活用範囲を広げていきます。その他、パソコンの便利な利用方法を紹介しながら、さらに楽しさを深めて頂きたいと思います。また、インターネットの中にも大切なマナーとセキュリティがあります。みなさんと一緒に確認していきましょう。	
U R L		

	担 当 講 師	いむ はうん 林 河運
	所 属 （ 職 ）	島根大学外国語教育センター（特任講師）
	学位・資格等	博士（文学）
	専 門 分 野	韓国語教育、日韓対照言語学
	研 究 テ ー マ	韓国語の教授法と教材研究
	所属する学会	朝鮮語教育学会、新潟県ことばの会、ハンガンネット（韓国語講師ネットワーク）、国際韓国語教育学会
教育・研究内容	<教育>：受け身で聞いているだけの学生から知的好奇心を呼び起こし、学びへの意欲を高める、つまり主体的な学びとなるような教育実践を行っています。 <研究>：韓国語教育の質の確保・向上のための研究をしています。 ①学習者の学びの格差を小さくしつつ足りない学修時間の確保に向けて：モバイル端末を活用した対面授業と反転授業を融合したブレンディッド・ラーニングのコンテンツのさらなる確保とともにシステム構築を目指しています。 ②学生と教員の間の双方向性の授業展開の工夫：オンライン上でのプラットフォームを提供するための構築を目指しています。 ③体験学習を取り入れた授業のデザイン：貴重な異文化実体験と異文化学習をすることによって、自文化と異文化との類似点や相違点などに気付くこととなり、自ら学ぼうとする知的好奇心が旺盛になると考えています。	
自 己 紹 介	韓国の釜山の出身です。日本は日本海と縁があるようで新潟で約 8 年、松江で 13 年目です。そのうち、松江には 2009 年 9 月に来てもう 10 年以上の歳月が経ち、第 2 の故郷になりました。最近の小さな楽しみですが、スポーツクラブでトレーニングをすることと、映画を鑑賞することです。	
授 業 の 特 色	授業はグループワークを中心としたスタイルで、韓国の歌を聞きながら楽しく韓国語を学ぶことができます。	
U R L	島根大学外国語教育センターの韓国・朝鮮語の HP です。 https://cfle.shimane-u.ac.jp/korean/	

	担 当 講 師	たかはし てつや 高橋 哲也
	所 属 (職)	島根大学人間科学部 (教授)
	学位・資格等	博士(農学), 博士(工学)
	専 門 分 野	被服科学、機能性繊維
	研 究 テ ー マ	健康生活に貢献する繊維素材
	所属する学会	日本家政学会、日本繊維製品消費科学会、 繊維学会
教育・研究内容	健康は被服素材との関係が大きく、運動機能も着用しているウェアに大きく影響を受けます。健康生活を維持するための抗菌、消臭、UVカットなどの機能性を有する健康衣料素材についても、幅広い観点からの教育や研究を行っています。 健康や生活環境と被服との関係について着目し、常に最先端の研究を行うように努めています。自ら南極観測隊員として南極地域でUVカット繊維の研究を行ったり、産業廃棄物である茶殻などから新規な機能性材料を創製したり、ロマンのある研究を行うようにしています。	
自 己 紹 介	昭和電工(株)総合研究所にて、主に繊維素材の研究開発をしておりました。2000年に、島根大学教育学部に着任し、家政教育講座に所属していました。2017年より島根大学人間科学部に在籍しています。現在、日本家政学会と日本繊維消費科学会の両方の学会の中国・四国支部長を仰せつかっております。被服科学や繊維素材の発展に、貢献したいと考えています。	
授 業 の 特 色	人は生まれると、すぐに産着やオムツを身に付けるようになります。被服は体温を維持し、危害から身体を守っています。被服は、私たちの心とからだの健康の維持に、常に大切な役割を果たしています。本講義では、被服素材の機能や役割を学ぶとともに、健康生活を維持するための抗菌、消臭、UVカットなどの新規な機能性を有する健康衣料素材についても学びます。本講義によって、健康を維持するために有益な衣料素材のあり方を理解するとともに、将来、有望とされる衣料素材に対する関心を持つこともできるものと思っています。できるだけ様々な動画も交え、わかりやすく説明したいと思います。	
U R L	http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/hifuku/	

	担 当 講 師	みやもと きょうこ 宮本 恭子
	所 属 (職)	島根大学法文学部 (教授)
	学位・資格等	博士(経済学)・保健師、助産師、介護支援専門員
	専 門 分 野	社会保障政策
	研 究 テ ー マ	介護政策、地域共生社会、外国人政策
	所属する学会	経済社会学会、日本介護経営学会、日本社会医学会
教育・研究内容	長期にわたる経済の停滞、グローバル化と国内産業の調整、人口の高齢化と社会保障への期待の高まりなど、現代は、大転換の時代にあります。この時代に必要な新たな経済社会の枠組みはどのようなものなのかを考えること、これが私の研究課題、教育内容でもあります。これらの研究を通じて、少しでも新たな経済社会の枠組みが示せたらと考えています。	
自 己 紹 介	島根大学に着任するまでは保健師として働いていました。現在は、大学での教育・研究活動に加えて、任意団体ヤングケアラーサロンネットワークを立ち上げて、ヤングケアラー支援にも取り組んでいます。このたび、READYFOR「休眠預金を活用した『深刻化する『コロナ学習格差』緊急支援事業』(助成額850万円)に採択されました。これからはヤングケアラー支援や学習支援事業に取り組んでいきます。本事業は、島根大学令和3年度戦略的機能強化推進経費「子ども・若者の孤立・貧困問題への文理融合アプローチ」の研究成果の一部でもあり、島根大学が推進するSDGs行動指針に資するものでもあります。	
授 業 の 特 色	保健・医療・福祉の社会保障分野は、経済学の中でも最も皆さんが身近に感じられる学問領域ではないでしょうか。この社会保障を中心に、これからの日本の経済の固有の問題に向き合うことで、新しい環境に直面したときに、その問題の本質と将来の方向性を見誤らない能力を授業で一緒に考えていきます。	
U R L		

	担 当 講 師	ふじい こうき 藤井 浩基
	所 属 （ 職 ）	放送大学島根学習センター（客員教授） 島根大学教育学部（教授）
	学位・資格等	博士（芸術文化学）
	専 門 分 野	音楽教育学
	研 究 テ ー マ	日韓音楽教育関係史研究
	所属する学会	日本音楽教育学会，音楽学習学会
教育・研究内容	本務の島根大学では教育学部音楽科教育専攻に所属し，音楽教員養成に携わっています。音楽教育学を中心に，音楽史や副科ピアノ等の授業も担当しています。 研究ではこれまでおもに日韓音楽教育関係史に取り組んできました。2017年に同名の著書（勉誠出版）を上梓し，一段落ついたところです。今は，山陰地方にゆかりのある音楽家や地域に息づいている音楽を掘り起こし，音楽の教材化につなげていくかを研究テーマの中心に据えています。	
自己紹介	米子市出身・在住で，学生時代を含めると，松江との往復は25年以上になり，朝晩に県境をまたぐ生活が続いています。 コロナ禍の少し前から，雄の柴犬を飼い始めました。自粛生活で閉塞感漂うなか，犬との暮らしが毎日を豊かにしてくれています。朝夕の散歩は適度な運動になるだけでなく，さまざまなコースを開拓するため，地域をよく知るきっかけになったように思います。インスタグラムに犬の写真をアップするのが最近の楽しみです。	
授業の特色	子どもの頃に学校で受けられた音楽の授業が今，大きく変わってきています。授業で扱う音楽の種類も多様化しており，驚かれるかもしれません。 音楽の授業は社会の影響を受けながら変容しています。同時に授業で学んだことが気付かないところで，私たちの生活に根付いています。面接授業では，さまざまな音楽を紹介します。時にノスタルジーにもひたりながら，音楽教育の過去・現在・未来を考えてみましょう。	
U R L		

担 当 講 師	きくの 菊野 ゆういちろう 雄一郎
所 属 （ 職 ）	京都ノートルダム女子大学現代人間学部（准教授）
学位・資格等	博士（人間・環境学）、臨床発達心理士
専 門 分 野	認知神経遺伝学・発達心理学
研 究 テ ー マ	ヒト認知発達の生物学的基盤
所属する学会	日本心理学会・日本発達心理学会等
教育・研究内容	科学の進歩により、現在ではヒトのこころの理解が脳神経レベルのみならず、ホルモンや遺伝子レベルまで研究できるようになってきました。私は、ヒトの認知発達（例えば、注意力）の個人差と関連する遺伝子やホルモンの同定に関する研究を行っています。各人の Quality Of Life (QOL) を高めるためにはどのような環境づくりが必要なのか、理論と応用をリンクさせながら日々教育・研究を行っています。
自 己 紹 介	学部生の頃、英国のノッティンガム大学にて心理学を学び、卒業後、京都大学にて博士号を取得し、研究員を経て 2018 年まで長崎大学医学部にて助教を務めておりました。現在は、島根県立大学短期大学部にて認知発達心理学研究・教育を行っています。 休みの日にはよく温泉へ出かけます。島根県民 4 年目となり、そろそろ行きつけもできてきました。もし共通の趣味の方がおられましたら、情報共有して下さい。よろしくお願いいたします。
授 業 の 特 色	授業の特色は、実際に心理学実験を実施する立場（実験者）と実施される立場（実験参加者又は協力者）となり、実践を通して心理学研究の理解を深めていただけることです。私たちが普段何気なく行っている物事を覚える、モノを見る等といった行動をどのような実験で調べるのか、延いては今後どのような新しい実験ができそうか、一緒に考えていきましょう。
U R L	https://matsuec.u-shimane.ac.jp/departament/teacher/tandai/kikuno.html

	担 当 講 師	おおば たくや 大庭 卓也
	所 属 (職)	島根大学次世代たたら協創センター (NEXTA) (特任教授)
	学位・資格等	理学博士
	専 門 分 野	回折結晶学、金属物性
	研 究 テ ー マ	マルテンサイトの結晶学的研究
	所属する学会	金属学会、結晶学会、物理学会、中性子科学会、Materials Research Society
教育・研究内容	物質の性質は原子の配列の影響が大いにあります。私はこれまで金属のマルテンサイト変態と言う温度などによって原子の配列が変化する様子を回折結晶学的な手法で研究を行ってきました。回折結晶学と言うのはX線や中性子散乱などを利用して結晶内での原子の配列や相変態の様子などを調べるものです。マルテンサイト変態の原子的な描像は20世紀になって明らかになってきたものですが、日本刀の刃先の硬さを得るために古くから技術として利用され、近年では形状記憶合金として利用されてきました。	
自己紹介	島根大学総合理工学部を2019年3月に退職し、最後の年には金属に関する新しい研究所、次世代たたら協創センター (NEXTA) の設立にかかわり、退職後はNEXTAの特任教授をやっています。金属というと身近にあり、当たり前すぎて、なかなか興味を持ってもらえないのかもしれませんが。最近はどういう面白さを伝えるのが良いか考える機会がいろいろとあり、研究とは違った面白さ、難しさを感じています。写真はルーマニアへ招待され、「たたら」についての講演を行った後の写真です。	
授業の特色	島根県は出雲神話で知られ、神話に起源を持つ神社も多数存在しています。また、たたら製鉄という日本の製鉄法でも知られ、近代日本の鉄の多くを生産していました。当時の産業としてSDGsの発想も持っていました。鉄を使った日本刀作刀の技術は現代の材料科学的にも根拠があり、現代の産業とも結びついています。日本では古くから刀匠がその高い技術をつないでいます。講義では最新の金属研究所、NEXTAやたたら博物館 (和鋼博物館) の見学とともに鉄を取り巻く科学を広く学びます。	
U R L	https://tatara.shimane-u.ac.jp/	



担 当 講 師

かむら ゆうじ
嘉村 雄司

所 属 （ 職 ）

島根大学法文学部（准教授）

学位・資格等

法学修士

専 門 分 野

企業法（商法・会社法など）

研 究 テ ー マ

水害保険、店頭デリバティブ取引

所属する学会

日本私法学会、日本保険学会

教育・研究内容

2010年4月に島根大学法文学部に着任し、企業法に関する教育・研究にかかわってきました。企業法の射程範囲は広く、代表的なものとしては「商法」「会社法」「金融商品取引法」「保険法」などがあります。私の研究テーマは、「デリバティブ取引」と「水害保険」で、「金融商品取引法」と「保険法」が中心となります。もっとも、大学の授業では、「商法」と「会社法」を中心に講義をしていますので、教育・研究を併せると、企業法の多くの分野をカバーしていることになります。企業法は日常生活に馴染みのない法分野かと思いますが、この授業をきっかけに少しでも興味を持ってもらえれば嬉しいです。

自己紹介

松江に来てから、もう10年以上も経ちました。松江のゆっくりとした落ち着いた雰囲気が好きです。ここ数年は、大学の業務以外にも、島根県や松江市の様々な委員の仕事にも携わらせていただいています。社会貢献・地域貢献というのは言い過ぎかもしれませんが、少しでも島根県や松江市のお役に立てる仕事ができたらと思っています。今回の放送大学の授業が皆さんにとって少しでも意味のある内容になるよう頑張ります。

授業の特色

この授業では、株式会社の存在意義について、受講生の皆さんと一緒に考えたいと思います。具体的には、「株式会社は誰のものか（株式会社は誰のために経営されるべきか）」という点について、新聞記事などの具体例にも触れながら、判例・学説などに関して解説していきます。私の一方的な解説だけですと受講生の皆さんも疲れてしまうので、皆さんに考えてもらう時間を取りつつ、感想や意見を伺いながら進めたいと思っています。

U R L

https://www.hobun.shimane-u.ac.jp/list_teacher/kamura.html

 2018 台湾調査 (十分にて)	担 当 講 師	かなざわ ゆうき 金澤 雄記
	所 属 (職)	広島工業大学工学部 (准教授)
	学位・資格等	博士 (工学)
	専 門 分 野	日本建築史
	研 究 テ ー マ	城郭・社寺・民家 etc
	所属する学会	日本建築学会・日本民俗建築学会 都市史学会
教育・研究内容	学生時代は社寺や民家、町並みの調査を多々行いました。前々職では長野県飯田市で主に「本棟造」と呼ばれる民家や養蚕業に関わる民家、さらに歌舞伎や人形芝居を行う「農村舞台」に関して調査研究していました。前職の米子高専では主に米子城の復元的研究や、城下町に残る町家の調査等を行っていました。基本的には「なんでも屋」です。	
自 己 紹 介	広島市出身ですが、本籍は松江城下にあります。広島大学・東京大学へ進学し、長野県で研究職、米子高専で教職に就いた後、2020 年度より広島工業大学でお世話になっています。幼少時よりなぜか城郭に興味を持ち、建築史の道に進みました。2020 年度より広島へ帰ることになりました。 好きなものは車と広島カープとラーメンです。よろしくお願いします。	
授 業 の 特 色	松江城の歴史と特徴ということで、城というとまずは天守ですが、今年度の講義では「御殿」に焦点を当てたいと思います。御殿は城主の生活の場と、政庁の場として重要な建物群です。御殿というと聞きなじみが少ないかもしれませんが、それもそのはず、現存天守は 12 基ありますが、現存御殿は 4 か所しかありません。残念ながら松江城の御殿も取り壊されて残っていませんが、残された史料から御殿の復元を試みつつ、御殿という建物群について理解を深めたいと思います。 可能でありましたら事前に二条城・掛川城・川越城・高知城の現存御殿か、佐賀城・名古屋城・篠山城・熊本城などの復元された御殿を見学されると理解がしやすいかもしれません。	
U R L	なし	

	担 当 講 師	たきうら まさと 滝浦 真人
	所 属（ 職 ）	放送大学人間と文化コース（教授）
	学位・資格等	博士（文学）
	専 門 分 野	言語学・語用論・日本語学・ コミュニケーション論
	研 究 テ ー マ	対人関係の語用論
	所属する学会	日本語用論学会、日本言語学会、 日本語学会
教育・研究内容	専門は言語学、とくに語用論・コミュニケーション論で、対人関係にかかわる言語の機能を中心に、ポライトネス（言語的対人配慮）や敬語に関する研究をしています。 著書に、『日本の敬語論』（2005 年 大修館書店）、『ポライトネス入門』（2008 年 研究社）、『山田孝雄』（2009 年 講談社）、『日本語は親しさを伝えられるか』（2013 年 岩波書店）ほか。 放送大学での授業としては、「日本語リテラシー」（'16TV）、「日本語アカデミックライティング」（'17R）、「日本語リテラシー演習（'18OL）」など日本語のライティング系科目に加え、専門領域の科目として、「新しい言語学（'18R）」、「言語研究法（'19OL）」、そして「日本語学入門（'20TV）」を制作しました。ライティング系科目は“二代目”に入りつつあり、「日本語リテラシー」（'21TV）、「日本語アカデミックライティング」（'22N）と改訂版がスタート（予定）！	
自 己 紹 介	1962 年岩手県盛岡市の生まれで、小学校～高校を仙台で育った（元）東北人です。（もう 40 年以上も東京暮らしなので、あまり東北人っぽくはなくなりました。） 東京大学文学部卒、同大学院人文科学研究科博士課程中退。2017 年、博士（文学）取得@北海道大学。共立女子短期大学、麗澤大学を経て 2013 年度から現職です。 コロナ禍で料理の腕とセンスが上がりました！	
授 業 の 特 色	毎日あたりまえのこととして考えもしなかった対象が、ある角度から切り取ることで今までとは違った新鮮な姿を見せてくれることを、一緒に体験できたらと思います。	
U R L		

	担 当 講 師	なわて まさひこ 縄手 雅彦
	所 属（ 職 ）	島根大学総合理工学部（教授）
	学位・資格等	工学博士
	専 門 分 野	福祉情報工学
	研 究 テ ー マ	ICT を用いた発達障がい児支援 画像処理によるヒト情報計測
	所属する学会	電子情報通信学会, 情報処理学会, ヒューマンインタフェース学会, 発達性ディスレクシア研究会, 日本磁気学会
教育・研究内容	学部ではプログラミングや計測データ処理, 人間と工学のかかわりなどを, 大学院ではヒューマンインタフェースについての講義を担当し, 工学や技術がどう人の幸せにつながるかの準備となる教育を行っています。 研究では, 教育学部や人間科学部の教員と共同で, ヒトの心理・行動計測への AI をはじめとする ICT の応用や学習ゲームの開発などを行っており, 学習ゲームについては一部を Web でも公開しています。最近オンライン/オンデマンド授業における学生・生徒の集中度を画像から計測する試みを行っています。	
自 己 紹 介	広島出身でサンフレッチェのサポーターです。週末は可能な限り E スタまで応援に出かけておりますが, コロナ禍で応援に行くのも制限され, 辛い日々が続いたこの 1 年でした。自分でも職場のサッカー部で老体に鞭打ってお昼休みのサッカーのミニゲームを楽しんでおります。 大学の定年も近づいてきて, 寂しさがだんだんと心にも浮かんできますが, 研究自体は大学院生と楽しくやっており, 学会で各地に再び行ける日を待ち望んでいるところです。	
授 業 の 特 色	ヒューマンインタフェースの分野は系統的に学習できる教科書がほとんどなく, 自分でこれまであれこれ見てきた人と機械やコンピュータとの相互作用を, インタフェースの観点から整理してお話しします。豊富な画像や事例で楽しくいろんなインタフェースに触れることができます。楽しんで受講してください。	
U R L	http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/~nawate/	

	担 当 講 師	こだま ゆうき 児玉 有紀
	所 属 (職)	島根大学生物資源科学部 (准教授)
	学位・資格等	博士 (理学)・高等学校教諭一種免許状 (理科)
	専 門 分 野	進化生物学・原生生物学・細胞生物学
	研 究 テ ー マ	繊毛虫のミドリゾウリムシを用いた細胞内共生の成立・維持機構の解明
	所属する学会	日本原生生物学会・日本動物学会
教育・研究内容	ミトコンドリアや葉緑体を生み出した「細胞内共生」は現在でも多くの生物同士見られ、新たな機能と構造の獲得による真核細胞の進化と多様化の原動力となっています。しかしその成立機構は明らかにされていません。私は繊毛虫のミドリゾウリムシとクロレウとの共生系を用いて、真核細胞同士の細胞内共生が成立する仕組みや維持される仕組みを明らかにすることを目的として研究をしています。 大学では、細胞生物学、細胞生理学、生物学、化学などの講義を担当しています。	
自 己 紹 介	山口県宇部市の出身です。中学生の時の理科の先生の影響で、生物の分野が好きになりました。同じ頃、教育実習として来られた素敵な理科の女性の先生に憧れて、理科の教員を目指すようになりました。教員免許状の取得を第一の目的として地元の山口大学理学部に入学し、学部3年生までは理科の教員を目指して過ごしていましたが、4年生で研究室に配属され、恩師である藤島政博教授と研究材料であるミドリゾウリムシに出会いました。藤島教授に研究の面白さを教えていただいてからは、研究が私の生き甲斐となっています。	
授 業 の 特 色	私達ヒトは約37兆個の真核細胞から成り立っています。その細胞の誕生に「細胞内共生」という現象が必須であったことについては、あまり知られていません。簡単な実験を交えながら、私達の体を作っている真核細胞誕生の仕組みについて一緒に楽しく学びましょう。	
U R L	https://sites.google.com/view/yuuki-kodama/home	

2022年度 第1学期 面接授業 日程表

授業計画にお役立てください

	授業実施日	科目区分・ナンバリング	定員	科 目 名	担当講師名
4月	23日(土) 24日(日)	専門科目：人間と文化 320(中級)	20	松江城の歴史と特徴	金澤 雄記
	30日(土) 5/1日(日)	専門科目：生活と福祉 320(中級)	20	着ごちの科学	高橋 哲也
5月	7日(土) 8日(日)	専門科目：社会と産業 320(中級)	20	現代につながるたたら製鉄	大庭 卓也
	14日(土) 15日(日)	専門科目：人間と文化 320(中級)	20	日本語の性格	滝浦 真人
	14日(土) 15日(日)	専門科目：情報 320(中級)	20	ヒューマンインタフェースと社会	縄手 雅彦
	21日(土) 22日(日)	基盤科目：外国語 120(中級)	20	K-POPから学ぶ韓国語	林 河運
	28日(土) 29日(日)	基盤科目：- 110(初級)	20	新・初歩からのパソコン	佐竹 易子
6月	4日(土) 5日(日)	専門科目：心理と教育 320(中級)	15	変わりゆく学校の音楽教育	藤井 浩基
	11日(土) 12日(日)	専門科目：生活と福祉 320(中級)	20	福祉経済論	宮本 恭子
	25日(土) 26日(日)	専門科目：社会と産業 320(中級)	20	会社法の基礎理論	嘉村 雄司
7月	2日(土) 3日(日)	専門科目：心理と教育 320(中級)	20	心理学実験2 ※ 認定心理士資格取得対応科目	菊野 雄一郎
	9日(土) 10日(日)	専門科目：自然と環境 320(中級)	10	原核細胞と真核細胞	児玉 有紀

★ 島根学習センター所属の学生の皆さまへ ★

学習を進めていると疑問や質問、悩みや問題がでてきます。
そんなとき、皆さまのお悩み解決のお手伝いをいたします。

学習相談

学習内容についてはもちろん、様々な学習上の
疑問・悩み・問題について、所長と客員教員が
直接ご相談に応じます。分からないことがで
きたら、一人で悩まないで、「客員教員室」の扉
をたたき、先生とお話ししてみませんか。

履修相談

放送大学のこと、面接授業のこと、通信指導のこ
と、単位認定試験のこと、卒業までの履修計画な
どなど、履修に関する相談は、島根学習センター
事務職員がお答えします。

わからないことや悩みがあったら・・・

★ お問い合わせ先 ★

☎ (0852) 28-5500

(時間 9:30~17:30 月曜・祝日は閉所日)

放送大学島根学習センター

〒690-0061 松江市白潟本町 43

電 話 (0852) 28-5500

FAX (0852) 28-1800